

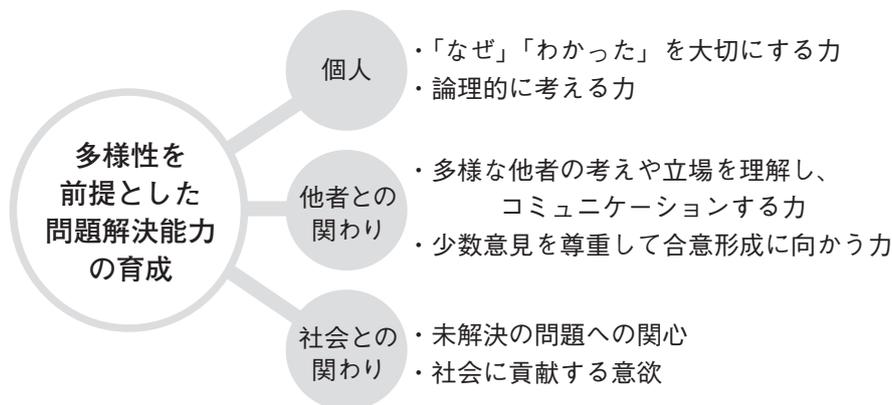
# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30 - 94	小学校	国語	国語	3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11 学図	国語 303	みんなと学ぶ	小学校 国語	三年 上
	国語 304	みんなと学ぶ	小学校 国語	三年 下

## I 編修の基本方針

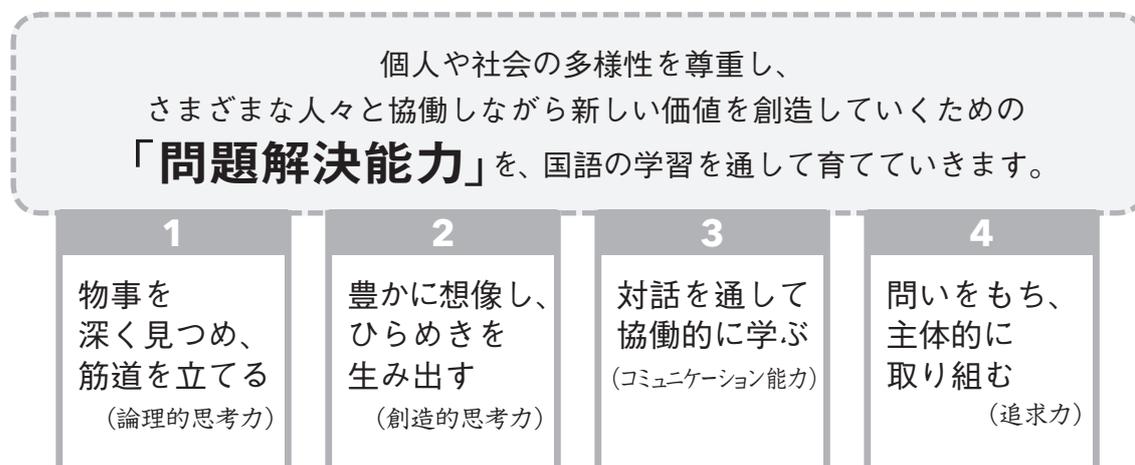
私たちは、共通の編修理念に基づき、育てたい資質・能力を以下のようにとらえました。



教育基本法第2条に示された教育の目標を達成するため、この教科書では上記の理念を取り入れ、次のような基本方針を掲げました。

## 「言葉と深く関わり、新しい世界を切りひらく」

言葉と深く関わり、没頭しながら、目の前の課題を踏み越えることができた時、子どもたちはこれからの社会を生きるための「確かな言葉の力」を身につけることができます。言葉の力を獲得し、自信と希望をもって新しい課題に挑戦する子どもたち。そのような姿を思い描き、教科書を編修しました。



この教科書では、問題解決能力を育成すべく、その支えとなる力を4つに分けて整理しました。

# 1 物事を深く見つめ、筋道を立てる

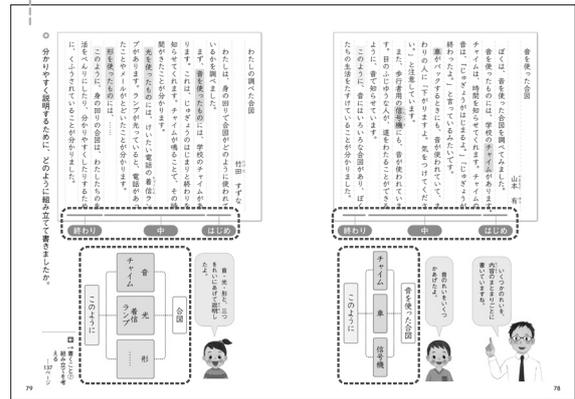
対象を言葉で理解・表現し、物事を論理的に解釈する力を育成することで、幅広い知識と教養を身に付けられるようにしています。また、思考操作の方法をメタ認知することにより考えの深化を促し、真理を求める態度や自主及び自律の精神を養います。

イラストをもとに分類の思考操作を行うことで、物事を分析的にとらえます。活動を通して論理的に思考することはどういうことかをメタ認知し、実感的な学びを形成していきます。

身の回りの合図としてみるしを見つけ、それらを題材にした文章を書きます。まとまりを考えながら事例を整理し、文章を組み立てたり図化したりする思考過程を経て、論理的な文章構成に気付いていきます。



「いろいろな見方で分類しよう」(上巻 P62・63)



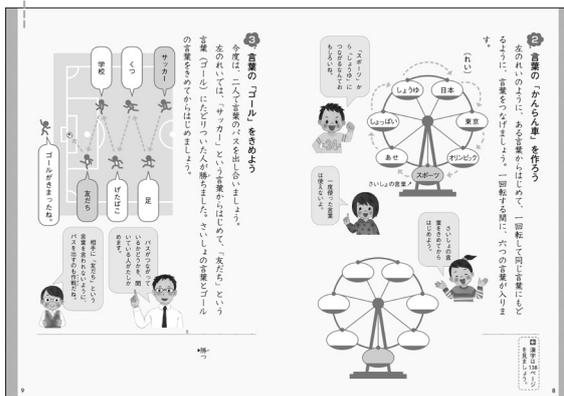
「見つけよう、合図としてみるし」(上巻 P78・79)

# 2 豊かに想像し、ひらめきを生み出す

豊かに想像したり、思考を再構成して捉え直したりすることでその能力を伸ばし、情操を豊かにするとともに、既有的な認識にとらわれない新しい価値を生み出すための創造性を培います。

ある言葉から思い浮かんだ言葉をつなげていく活動を行います。遊び心をもって発想力を発動し、言葉への新しい気づきを促します。また、一見結びつかないものをつなげる思考活動により、新しい知を生み出すための創造力を育てます。

他のものになりきって、その性格や気持ちを想像しながら詩を書きます。自分ではない別の視点から想像し、その様子や気持ちにあう言葉を吟味して表現することで、情操を豊かにします。



「言葉と言葉のつながりを楽しもう」(下巻 P8・9)

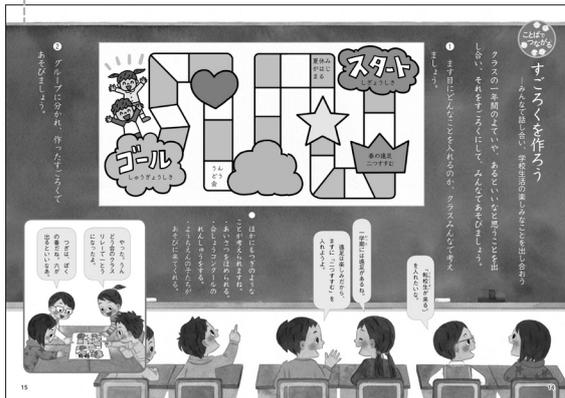


「ほかのものになりきって」(下巻 P34・35)

### 3 対話を通して協働的に学ぶ

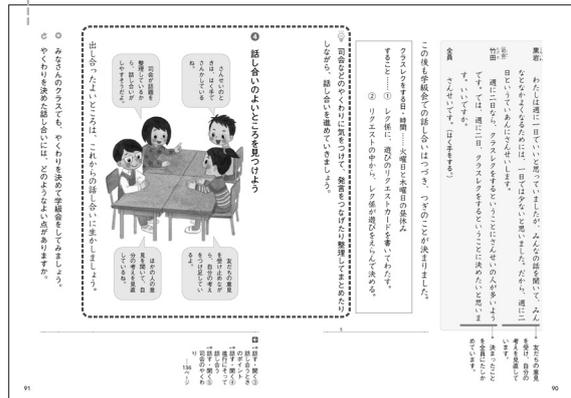
考えや立場の多様性を理解し、言葉を介して協働するための学習基盤を作っていくことで、個人の価値を尊重し、主体的に社会の形成に参加する態度を養います。また、活動目的を明確にし、互恵的な集団思考の有用性を図ることで、自他の敬愛と協力を重んずる態度や、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。

● ゲーム形式で、年間行事をテーマに交流する活動を通して、話し合いのルールを学ぶとともに、学習集団にとって大切な親和的な雰囲気を築きます。



「すごろくを作ろう」(上巻 P14・15)

● 子どもたちにとって身近な「クラスレク」を題材とした話し合い活動を行います。多様な考えを 수용しながら、合意形成に向かい課題を解決するための「話を展開する力」を身につけます。

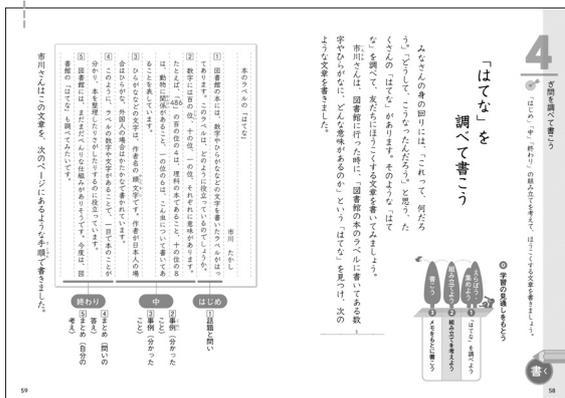


「クラスレクリエーションをしよう」(上巻 P90・91)

### 4 問いをもち、主体的に取り組む

自ら課題を発見し、それを解決していくためのプロセスを構築する力を育てていくことで自主及び自律の精神を養います。また、積極的に課題に関わり、考え、判断し追求していくことで、主体的に社会の形成に参画する態度を養います。

● 身の回りから「なぜ」「どうして」といった疑問をもち、調べて分かったことを文章にまとめます。どんな手順で調べ、どのように文章を組み立てたらよいかを考えていくことで、課題解決のためのプロセスを身につけます。



「『はてな』を調べて書こう」(下巻 P58・59)

● 物語のおもしろさを見つけ、友達と対話しながら読み深めていきます。読みの手順を自ら考え、自発的に問いをつくることで、真の理解を促し言語生活を豊かにしていきます。



「わにのおじいさんのたから物」(下巻 P108・109)

## II 対照表

### 【上巻】

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<b>巻頭</b> どきん	詩を声に出して読むことで、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました(第1号)。	表紙2～P1
<b>本編</b> 国語じてんの使い方 音読み・訓読み・送りがな しゅうしょく語 ローマ字 漢字の広場 言葉をつないで文を作ろう①・②・③	文の構成やローマ字、漢字など、言葉の特徴や使い方について学習することで、幅広い知識と教養を身に付けるようにしました(第1号)。言葉や文に着目し、読んだり書いたりすることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすとともに、自主及び自律の精神を養えるようにしました(第2号)。	P32～35 P58～60 P80～83 P128～131 P65 P61・P92 ・P132
いろいろな見方で分類しよう	自分で観点を見つけて物事を分類する活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました(第1号)。	P62～64
俳句 させつのだより：春・夏  おもしろさを話し合おう／あらしの夜に	俳句をよんだり、言葉から季節を感じたりすることで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました(第5号)。物語のおもしろさを見つけ、自立的に読書活動を進めていくことで、その能力を伸ばし、創造性を培うとともに、自主及び自律の精神を養えるようにしました(第2号)。	P52～57 P36～37・ P66～67 P94～107
しょうかいしよう、わたしのお気に入り 校内放送を聞き取ろう	話したり聞き合ったりする活動を通してお互いのよさや特徴を知り、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました(第3号)。大事なことに耳を傾け注意深く聞き取る活動を通して、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました(第3号)。	P30～31 P118～119
すごろくを作ろう クラスクリエイションをしよう	友達と協力して行う活動や、合意形成に向かってクラス全員で話し合う活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました(第3号)。	P14～15 P84～91
自分だけのノートを作ろう 食べ物のみみつをさぐろう 見つけよう、合図とするし 考えをまとめよう、広げよう	調べたことや学習したことをまとめたり、分類して整理したりする活動を通し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました(第1号)。	P28～29 P46～49 P76～79 P120～123
つたえたいことがいっぱい あんないじょうを書こう	日常の出来事で感じたことや思ったことを書き表したり、伝えたい思いを手紙で表したりする活動を通し、個人の価値を尊重し、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました(第2・3号)。	P114～117 P124～127
つり橋わたれ うち知ってんねん／夕日がせなかをおしてくる	物語や詩を読み、人の心などの美しいものや気高いものに触れ、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました(第1号)。	P16～27 P110～113
ミラクルミルク 合図とするし	身の回りの食べ物や、人間の安全や生活に関わる合図とするしを題材にした説明文を読むことで、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました(第4号)。	P38～45 P68～75
「百科事典」を引いて調べよう	事典を使って調べる活動を通し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました(第1号)。	P50～51
<b>巻末</b> 学校図書館で本をさがそう ほしたらどうなる 言葉のへや	図書館の利用の仕方を学んだり、身近な語彙について自覚的に見つめたりすることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました(第1号)。世界各国の、自然からの恵みである食べ物をテーマにした説明文を読み、自然を大切にすることを他国を尊重する態度を養えるようにしました(第4・5号)。	P138～139 P142～147 P158

### 【下巻】

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<b>巻頭</b> いきもの	詩を声に出して読むことで、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました(第1号)。	表紙2～P1
<b>本編</b> こそあど言葉 言葉のなかま分け 漢字の組み立て(部首) 漢字のでき方 ローマ字 言葉と言葉のつながりを楽しもう 言葉で遊ぼう 漢字の広場 言葉をつないで文を作ろう①・②・③	文の構成や語彙、ローマ字、漢字など、言葉の特徴や使い方について学習することで、幅広い知識と教養を身に付けるようにしました(第1号)。言葉から想像したことを広げ言葉をつないでいく活動を通して、言語感覚を豊かにし創造性を培えるようにしました(第2号)。言葉に着目して自覚的に学ぶことで、自主及び自律の精神を養えるようにしました(第2号)。	P36～37 P56～57 P70～71 P110～111 P112～113 P6～9 P114 P32 P33・P83 ・P115

本 編	慣用句 きせつのはより：秋・冬 本のポップを作ろう	昔から日常的に使われてきた慣用句について理解したり、日本人が大切にしてきた季節を感じる言葉に触れたりすることで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました（第5号）。 制作を伴う読書を通して、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました（第1号）。	P18～19 P20～22・ P66～67 P62～63
	ミニギャラリーの解説委員になろう これはわたしにおまかせください	友達の前で解説をしたりスピーチをしたりすることで、自律の精神を養い、正義と責任、自他の敬愛を重んずる態度を養えるようにしました（第2・3号）。	P22～29 P68～69
	遊びをくらべよう 心をとどけよう、受け止めよう	友達との交流で気付いたことを出し合う活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました（第3号）。	P76～82 P96～97
	「はてな」を調べて書こう つながりを考えて書こう	文章構成を考えながら書く活動を通し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました（第1号）。	P58～61 P92～95
	作文をよりよくしよう	文章の推敲の仕方を学ぶことで、その能力を伸ばすとともに、自主及び自律の精神を養えるようにしました（第2号）。	P30～31
	ほかのものになりきって 写真が動き出す	詩や物語の創作活動を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培えるようにしました（第2号）。	P34～35 P72～75
	三年生をふり返って	一年間の学びをふり返り、今後の学習に生かそうとすることで、主体的に社会の形成をし、その発展に寄与する態度を養えるようにしました（第3号）。	P118～120
	モチモチの木／絵をくらべながら読もう わにおじいさんのたから物 なにかをひとつ	物語や詩を読み、人の心などの美しいものや気高いものに触れ、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました（第1号）。	P38～55 P98～109 P116～117
	ネコのひげ 冬眠する動物たち	動物の体の仕組みを題材にした説明文を読むことで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました（第4号）。	P10～17 P84～91
	わたしたち手で話します 言葉の部屋	手話によるコミュニケーションをテーマにした文章を読むことで、道徳心を培うとともに、公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました（第1・3号）。 語彙について自覚的に見つめることで、幅広い知識と教養を身に付けるようにしました（第1号）。	P126～137 P148

### Ⅲ 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

教育基本法第5条第2項及び学校教育法第21条に則り、以下の工夫をしました。

#### ● 伝統と文化を尊重し、郷土愛と異文化を理解する態度を養います。

- ・昔から日常的に使われてきた慣用句について知ること、日本の文化に親しめるよう配慮しています。
- ・日本人が育んできた季節を感じる言葉や暮らしに関わる言葉を扱い、日本の文化や地域の文化を尊重する態度を養えるようにしています。

#### ● 働くことの尊さや家族の役割に気付くよう配慮しています。

- ・ミニ美術館で擬似的に学芸員や解説員になって説明する活動や、昔と今の遊びについて家族に取材する活動を通して、勤労を重んずる態度を養い、親の存在感や家庭での役割の大切さに気付くようにしています。

#### ● 自然を大切に作る心を育てます。

- ・動物や自然からの恵みである食べ物をテーマにした読み物教材を掲載し、自然や環境保護への意識をもてるようにしています。

#### ● インクルーシブ教育、ユニバーサルデザインに配慮しています。

- ・文字の大きさ、書体（書き文字に近いフォント）、囲みや罫線による地の文との区別、色使いなどのレイアウトを工夫し、判読しやすくしています。

#### ● 読書習慣を身に付け、生涯にわたって本に親しむ態度を育てます。

- ・本を見つけるための手掛かりとなるよう図書紹介のページを設け、読書への意欲と興味を喚起するようにしています。

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30 - 94	小学校	国語	国語	3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11 学図	国語 303	みんなと学ぶ	小学校 国語	三年 上
	国語 304	みんなと学ぶ	小学校 国語	三年 下

## I 編修上特に意を用いた点や特色

○編修の基本方針

### 「深く考え、共感し、しなやかに生きる」

グローバル化が進展し先の読めない社会の中で、予測を超えた課題に向き合い、これからの未来をどう切りひらいていくか。

言葉と深く関わり、没頭しながら、目の前の課題を踏み越えることができた時、子どもたちは社会を生きるための確かな言葉の力を身につけることができます。

言葉の力は生きる力そのものです。みんなとともに一步一步、言葉の力を獲得し、自信と希望をもって新しい課題に柔軟に対応する子どもたち。そのような姿を思い描き、子どもたちの明るい未来へのスプリングボードとなる教科書をめざしました。

#### 【めざす子ども像】

自ら学び、追求し、深く考え、自分の言葉で発信する姿。

互いの立場や考えを尊重し、対象を言葉で伝え合うことで自分の考えを確かめ、新たな価値の発見や考えの更新を実感する姿。

必要な情報を見極め、課題解決に向けて意思決定や行動選択のできる姿。



日本人としての感性や情緒を育むとともに、さまざまな文化や考え方の多様性を理解し、他者と協働していく姿。

#### 【みんなと学ぶ 小学校 国語の特色】

何を学ぶか

どのように学ぶか

何ができるようになるか

つきたい力を明確にし、対象と主体的に関わり、言葉による見方や考え方を働かせることで、確かな言葉の使い手となる能力を育てます。

特色 ① 確かな言語能力を育成します。

特色 ② 見通しをもって取り組むことで、学びの自覚化を促します。

特色 ③ 学ぶ意欲を喚起し、豊かな情操を育みます。

特色 ④ 対話の質を高め、多様な考えを受容する「共感力」を培います。

特色 1

# 確かな言語能力を育成します。

言葉に着目し言葉で考える機会を設けることで、国語の基礎・基本を積み上げていきます。また、教材どうしを関連させることで系統性をもたせ、学習を繰り返しながら理解を深め、資質・能力の定着を図ります。

- 年間を通して、〈読むこと〉と〈書くこと〉を往還することで、基礎的な国語の力をつけます。学びが少しずつ積み上がり、概念を理解していく中で、深い学びの土台を築いていきます。



「ミラクル ミルク」(上巻 P38・39)

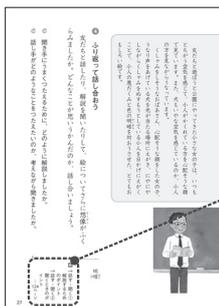


「食べ物のひみつをさぐろう」(上巻 P46・47)

- 学習に必要な技能や、言葉による見方や考え方を働かせて言語活動を進めていくためのヒントをまとめています。〈読むこと〉では「学習のてびき」に、〈話すこと・聞くこと〉や〈書くこと〉では巻末資料にリンクさせ提示しています。これらが深い学びの“鍵”となります。



「合図としるし」(上巻 P75)



「ミニギャラリーの解説委員になろう」(下巻 P27)



「国語のカギ」(下巻 P124)

特色 2

# 見通しをもって取り組むことで、学びの自覚化を促します。

学年の最初に、その学年で付けたい力を一覧で示し、1年間の学習内容を確認できるようにしています。また、学年末には、1年間の学習をふり振り返り、達成感を味わわせ今後の学びへの意欲づけができるようにしています。

- 上巻冒頭での、両観音開きのダイナミックな紙面と上質なイラストが、国語学習の世界へ誘います。下巻の最後で自身の学びをふり振り返り、自分の思いや考えを書きます。



「三年生でつけたい力」(上巻 P7～10)



「三年生をふり返って」(下巻 P120)

特色 3

# 学ぶ意欲を喚起し、豊かな情操を育みます。

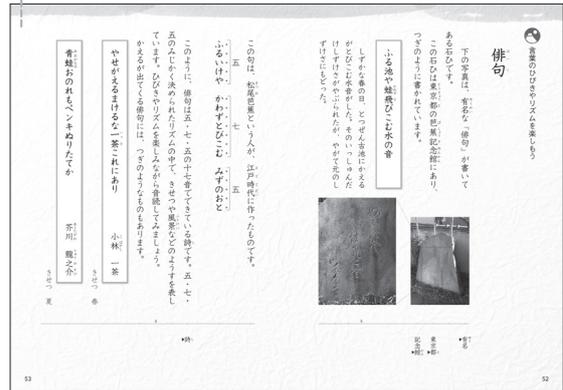
子どもたちが「やってみたい!」と色めき立つような、魅力的な言語活動を設定しています。また、言葉が醸し出す味わいを感覚的にとらえ、豊かに想像することで言語感覚を磨けるようにしています。

物語の面白さを見つけ、友達と交流しながら読み進めていきます。自発的な活動を通して、自ら学び方を獲得することで、次の学習につながるための意欲を喚起します。

言葉の響きやリズムを声に出して体で感じることで、受け継がれてきた日本語の表現に親しむことができます。



「おもしろさを話し合おう」(上巻 P94・95)



「俳句」(上巻 P52・53)

特色 4

# 対話の質を高め、多様な考えを受容する「共感力」を培います。

対話により、話す力と聞く力を相互に関係づけながら、多様な考えを共感的に受け止めることで、自らの思考の深化や変容を促すとともに、教室内のコミュニケーションを円滑にします。

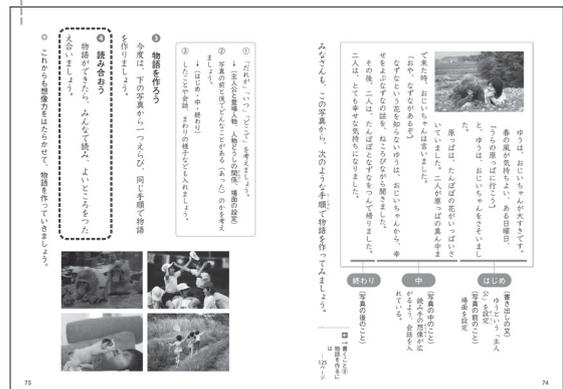
〈話すこと・聞くこと〉の教材のみならず、〈書くこと〉や〈読むこと〉の教材でも、対話的な「学び合い」を通して、互いの理解を深められるようにしています。また、共有の場面は単元の最後だけでなく、学習活動において常に共有を意識することで、自分の思考過程をふり返り、自分の思いや考えを確かめられるようにしています。

物語教材では、読解のプロセスに応じて、適宜考えを共有し、読みを深めていきます。学び合いにより「なるほど!」と納得したり、「どうして?」と考えたりすることが真の理解につながります。

書く活動においては、さまざまな過程で話し合いの場を設定しています。友達のアイディアやアドバイスをもとに、新たな価値を創造したり考えを再構成したりしていきます。



「モチモチの木」(下巻 P52・53)



「写真が動き出す」(下巻 P74・75)

## Ⅱ 対照表

### 【上巻】

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所	配当 時数	※
	1 知識及び技能	2 思考力、判断力、表現力等			
どきん	(1)ア, ク	C (1)エ	p①～1	1	
すごろくを作ろう	(1)ア, イ	A (1)オ	p14～15	2	
つり橋わたれ	(1)ア, オ, ク	C (1)イ, エ, カ	p16～27	6	
自分だけのノートを作ろう	(1)ア, (2)イ	B (1)エ	P28～29	1	
しょうかいしよう、わたしのお気に入り	(1)イ, キ	A (1)ア, ウ	P30～31	2	
言葉のいずみ1 国語じてんの使い方	(2)イ		P32～35	3	(1)イ
きせつのだより(春)	(1)オ		P36～37	1	
ミラクル ミルク	(1)カ	C (1)ア, ウ, カ	P38～45	5	
食べ物のひみつをさがろう	(1)カ, (2)イ	B (1)ア, イ, オ	P46～49	8	
「百科事典」を引いて調べよう	(1)イ, (3)オ	C (1)ウ, (2)ウ	P50～51	2	(1)イ
俳句	(3)ア, (3)ア		P52～57	4	(1)オ
言葉のいずみ2 音読み・訓読み・送りがな	(1)ウ, エ		P58～60	2	
言葉をつないで文を作ろう1	(1)エ	B (1)エ	P61	1	
いろいろな見方で分類しよう	(2)イ	B (1)ア	P62～64	3	
漢字の広場	(1)エ		P65	1	
きせつのだより(夏)	(1)オ		P66～67	1	
合図としるし	(1)カ	C (1)ア, ウ	P68～75	5	
見つけよう、合図としるし	(1)オ, カ	B (1)ア, イ, ウ	P76～79	8	
言葉のきまり1 しゅうしょく語	(1)オ, カ		P80～83	2	
クラスレクリエーションをしよう	(1)キ, (3)ア	A (1)ア, イ, オ, (2)ウ	P84～91	5	(1)ア
言葉をつないで文を作ろう2	(1)エ	B (1)エ	P92	1	
おもしろさを話し合おう ／あらしの夜に／読書のへや	(1)ア, (2)イ, (3)オ	C (1)イ, エ, カ, (2)イ	P93～109	7	
うち 知ってんねん ／夕日がせなかをおしてくる	(1)ア, ク	C (1)エ, カ	P110～113	2	
つたえたいことがいっぱい	(1)ア, オ, カ	B (1)イ, オ	P114～117	8	
校内放送を聞き取ろう	(1)イ	A (1)エ	P118～119	2	
考えをまとめよう、広げよう	(1)オ, (2)イ	B (1)ア	P120～123	6	
あんないじょうを書こう	(1)キ	B (1)エ, (2)イ	P124～127	4	(1)ア
ローマ字	(1)ウ		P128～131	3	
言葉をつないで文を作ろう3	(1)エ	B (1)エ	P132	1	

【下巻】

図書の内容	学習指導要領の内容		該当箇所	配当 時数	※
	1 知識及び技能	2 思考力、判断力、表現力等			
いきもの	(1)ア, ク	C (1)エ	p①～1	1	
言葉と言葉のつながりを楽しもう	(1)ア, オ	A (1)ア	p6～9	3	
ネコのひげ	(1)ク, (2)ア	C (1)ア, ウ, オ, (2)ア	p10～17	5	
慣用句	(2)イ, (3)イ		P18～19	2	(1)オ
きせつのはより (秋)	(1)オ		P20～21	1	
ミニギャラリーの解説委員になろう	(1)ア, イ, キ	A (1)イ, ウ, エ, (2)ア	P22～29	6	(2)
作文をよりよくしよう	(1)ウ, カ	B (1)エ	P30～31	2	(1)ア
漢字の広場	(1)エ		P32	1	
言葉をつないで文を作ろう 1	(1)エ	B (1)エ	P33	1	
ほかのものになりきって	(1)ア	B (1)ア, オ, (2)ウ	P34～35	6	
言葉のきまり 1 こそあど言葉	(1)カ		P36～37	2	
モチモチの木／絵をくらべながら読もう	(1)ア, (2)イ	B (1)イ, エ, オ, カ, (2)イ	P38～55	6	
言葉のきまり 2 言葉のなかま分け	(1)オ, (2)イ		P56～57	2	
「はてな」を調べて書こう	(1)カ, キ	B (1)イ, ウ, (2)ア	P58～61	9	(3)
本のポップを作ろう／読書の部屋	(3)オ	C (1)オ, (2)イ	P62～65	3	
きせつのはより (冬)	(1)オ		P66～67	1	
これはわたしにおまかせください	(1)イ, キ	A (1)ア, ウ, エ	P68～69	2	
言葉のいずみ 2 漢字の組み立て (部首)	(3)ウ		P70～71	2	
写真が動き出す	(1)ア	B (1)ア, イ, オ, (2)ウ	P72～75	9	
遊びをくらべよう	(1)イ, (2)イ	A (1)ア, ウ, エ, (2)イ	P76～82	7	
言葉をつないで文を作ろう 2	(1)エ	B (1)エ	P83	1	
冬眠する動物たち	(1)カ, (2)イ	C (1)ア, オ	P84～91	5	
つながりを考えて書こう	(1)カ, (2)ア	B (1)イ	P92～95	4	
心をとどけよう、受け止めよう	(1)ア, イ	A (1)オ	P96～97	2	(1)ア
わにのおじいさんのたから物	(1)ア	C (1)イ, エ, カ	P98～109	6	
言葉のいずみ 2 漢字のでき方	(3)ウ		P110～111	2	
ローマ字	(1)ウ		P112～113	2	(1)ウ
言葉で遊ぼう	(1)オ		P114	1	
言葉をつないで文を作ろう 3	(1)エ	B (1)エ	P115	1	
なにかをひとつ	(1)ア	C (1)オ	P116～117	1	
三年生をふり返って	(1)キ	B (1)ア	P118～120	2	

表内の記載は重点項目のみを示しています。

<備考>

- ・ 1 知識及び技能
  - (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項
  - (2) 情報の扱い方に関する事項
  - (3) 我が国の言語文化に関する事項
- ・ 2 思考力、判断力、表現力等
  - A 話すこと・聞くこと
  - B 書くこと
  - C 読むこと

※には「2 内容の取扱いについての配慮事項」に関するものを示しています。